

広報

ときめき きらめき いきいきを伝える



seki

せき

2015
3
No.1649



特集 本が好き!～読書のまち関市～・・・P2

TOPICS

- 小瀬鶴飼鶴匠インタビュー・・・P6,7
- お知らせ・・・P28~35
- ごみ袋の購入について・・・P18,19
- しあわせヘルスだより・・・P36,37
- あんなこと、こんなこと・・・P26,27
- 文化会館・図書館・・・P38

次はこれを読もうか? (関市立図書館)

「本が好き！」



～読書のまち 関市～

身近に本との出会いがある・・・

読書ができる環境がある・・・

本の話ができる場所がある・・・

そのような“本に囲まれたまち”

“読書のまち”をめざして、

さまざまな取り組みが行われています。



照会先

生涯学習課 ☎23—7777

I 読み聞かせ

～こころ豊かな子どもになってほしい～

読み聞かせボランティア「かみふうせん」



「平成10年から読み聞かせ活動を始め、現在は13人の会員がいます。読み聞かせの方法はいろいろですが、子どもが自由にどう感じてくれるか、子どもの想像力を高められるように心がけています。家庭でもぜひ、自分が好きな本を読んでいます。ほしい。そうすれば教えるための読書ではなくて、子どもと一緒に楽しむ時間となります。うまく読めなくても、長くなくても大丈夫。できれば抱っこなんかして、スキンシップを図ってあげてください。そんな読書の経験は、きっと子どもの成長にプラスになるはずですよ。」

「かみふうせん」さんに
聞きました

☆子どもに受ける、
おススメ絵本!☆

- ①『だるまさん・・・』シリーズ
- ②『はらぺこあおむし』
- ③『からすのパンやさん』

☆市立図書館「おはなし会」☆

本館「おはなしコーナー」にて、「どんぐり」「かみふうせん」「てくてく」「こちょこちょ」の各サークルと、図書館職員が読み手となり、乳幼児向けおはなし会を開催しています。詳しくは毎月の広報または市立図書館ホームページをご覧ください。



(後列左より) 田中すみ糸さん 藤井喜代子 代表
武内治子さん
(前列左より) 山田美保子さん 沼田美代子さん
石沢かほるさん

Ⅱ ビブリオバトル(書評対決)

～5分間のプレゼンがあなたを変える～
株式会社 岩田製作所(池尻)



今回のチャンプ本は、宇佐見 崇さんの司馬遼太郎著『燃えよ剣』に決定!

「自分の想像力や感性を磨くには、やはり読書がいちばんだと考えています。人生において何をやるにしても、自身の素養づくり、才能の下地づくりが大事で、読書は栄養となつて応えてくれるはず。これが社員にも読書を薦める理由です。」



代表取締役
岩田 修造 さん



読みたくなかった本に1票

今回、ビブリオバトルを初めて開催するという、(株)岩田製作所を訪問し、生の書評対決を聴いてきました。ここでは5分間という、短いようで長い時間を一杯語り尽くす発表者と、その世界に引き込まれていく聴き手の姿がありました。

最近、本を楽しむ新たな形として「ビブリオバトル」というイベントが注目を集めています。ここでは、参加者がおススメの一冊を持ち寄って、本の紹介を行います。集まった人たちは、すべての参加者の発表を聴き終えた後、どの本がいちばん読みたくなつたか投票し、チャンプ本(優勝本)を決定します。



「思わず熱く語ってしまいました」
(林 健二 さん)

Ⅲ 朝読書

～電子書籍を利用した新しいカタチ～
関商工高等学校



昨年度から毎朝10分間の「RI time」(朝学習時間)を設け、毎週月曜日は読書の日として、全校生徒が朝読書に取り組んでいます。特筆すべきは、電子書籍端末「kobo touch」を利用していること。生徒たちは、その中にインストールされている本の中から読みたい本を選んで、端末とにらめっこしながら読みます。従来の読書のスタイルとはちがった光景に驚きました。



澤田 樹理 さん
(総合ビジネス科1年)

「本は好きです。koboには、いろんなジャンルの本が入っていて、普段はなじみのない分野の本も読むきっかけになります。朝読書をするので、読書はみんなの習慣にもなり、読んだ本の感想を友達と話すことも楽しみのひとつですね。」



IV 本は身近な所でも

各地域ふれあいセンター

本を読みたい、借りたいと思つた場合、やはり図書館を思い浮かべますが、各地域のふれあいセンターにも図書室があり、地域の皆さんが自由に利用することができます。

図書館に比べ蔵書は少ないですが、さまざまなジャンルの本を備えています。また、インターネットで予約した図書館の本を、ふれあいセンターで受け取ることも可能です。

一度、お近くのセンターをのぞいてみてはいかがでしょうか。

桜ヶ丘ふれあいセンター

案外、ユニークな本が見つかるかもしれませんよ。気軽に利用してください。
(事務局 森口純一さん)



V 関の読書推進イベント「ほんのいっせき。」

ほんのいっせき



3月15日(日)から29日(日)までの15日間、関は「本のまち」になります。

関市の人がもっと読書をするまちになるように。本とまちとひとをつなぐ読書推進イベントです。

■ステージイベント 3月21日(土) わかくさ・プラザ「学習情報館・多目的ホール」

【スケジュール】

- 10:00～11:00 本にまつわる謎解き宝探し
- 11:15～11:40 映画上映会『ムーミン』
- 12:00～12:30 映画上映会『注文の多い料理店』
- 13:30～15:00 『ブラザートム×栗山圭介 読書に関する対談ライブ』
- 15:10～16:00 ビブリオバトル

参加無料

■まちなかイベント

会期中に、図書館やお店をはじめ、市内のさまざまな場所で本にまつわるイベントを実施します。詳しくは「ほんのいっせき」ウェブサイトをご覧ください。

ほんのいっせき

検索

■公式ガイドブック 関市の読書に関する公式ガイドブックをつくります。

【主催】関市教育委員会

【企画運営】関市読書推進実行委員会

【照会先】生涯学習課 (☎23-7777)



新しい生活をスムーズに！

市役所の一部窓口を年度末・年度始めの日曜日に臨時開庁します。平日も一部窓口を臨時に時間延長します。

入学・転勤などで新生活が始まる方が多いこの時期、転出・転入・転居などの手続きに係る一部の窓口業務を日曜日にも取り扱います。また、平日の窓口業務時間も延長しますので、ご利用ください。

◆日曜日の開庁日時

3月29日、4月5日 午前9時～午後5時

◆平日の窓口延長日時

3月27日(金)・30日(月)・31日(火)
4月1日(水)・2日(木)・3日(金)
いずれも午後5時15分～7時

◆対象となる窓口と業務内容

(転出・転入・転居などに伴うものが中心です)

| | |
|--|---|
| 市民課 (☎23—7700 FAX21—0479) | ○転出・転入・転居などの手続き、住民票・戸籍などの証明書発行、印鑑登録 ※住基カード、公的個人認証、広域証明書発行、旅券事務は取り扱いできません。 |
| 国保年金課 (☎23—7701 FAX23—7739) | ○転出・転入・転居などに伴う国民健康保険、国民年金に係る手続き ※3月30日(月)は午後8時30分まで国保税の納税相談も行います。 |
| 生活環境課 (☎23—6733 FAX23—7750) | ○転入・転居などに伴う指定ごみ袋購入券・ごみ収集カレンダーの交付 |
| 福祉政策課 (☎23—7735 FAX23—7748) | ○転出・転入・転居などに伴う福祉医療、障がい者手帳および自立支援受給者証に係る手続き |
| 高齢福祉課 (☎23—8993 FAX23—7748) | ○転出・転入・転居などに伴う介護保険、後期高齢者医療に係る手続き |
| 子ども家庭課 (☎23—8965 FAX23—7748) | ○転出・転入・転居などに伴う保育園、児童手当などに係る手続き |
| 水道課 (☎23—7707 FAX23—7741) | ○転出・転入・転居などに伴う上下水道の休止・開始の受付 ※当日は受付のみで、水道の開栓及び休止の作業は行いません。 ※3月30日(月)は午後8時30分まで料金納付相談も行います。 ※日曜日の受付は1階国保年金課の窓口で行います。 |
| 下水道課 (☎23—7708 FAX23—7741) | |

※各地域事務所、西部支所では休日開庁、窓口時間延長ともに行いません。



今回の重要無形民俗文化財指定の答申を受け、小瀬鵜飼の鵜匠にインタビューを行いました。

小瀬鵜飼が重要無形民俗文化財に

●照会先 文化財保護センター ☎25-6006

常に鵜を感じながら



⑩ マルジュウ 岩佐昌秋 鵜匠

今回、重要無形民俗文化財の指定の答申を受けて

うれしいし、ありがたいです。先祖や両親たちがやってきたことが、認められたということですから。同時に、大変なことだなというのを痛感しています。

鵜飼の見どころは

鵜の動きをじっくり見てほしいですね。鵜匠は鵜を感じながら仕事をしています。それがわかるのは手縄さばきに、鵜が魚を捕らえる瞬間です。そして鵜が舟に上り、捕らえた魚を吐くところですね。吐かせるところは、今後は今よりも見やすいように工夫してみたいと思っています。

次世代へ残していきたいことは

小瀬鵜飼の3軒は今まで、それぞれ個別に続いてきたと思います。それはそれで必要なことです。その3軒が同じようにしていくことも大切だと思います。各家の個性を守りつつ、小瀬鵜飼が盛り上がりつついっていきように協力し後世へ伝えていきたいと思っています。



技量の高さと深さ

【カネモ】足立太一 鵜匠

先代から印象に

残っていること

かつては美濃市や岐阜市まで行って鵜飼をしていたので、その分経験が幅広く豊富だったのでしょう。その技量の高さ・深さを傍らにひしひしと感じていましたよ。手縄さばきも速くうまくて。12羽の鵜を扱っていても絡まったりしたところを見ることがはなかったですね。

また、鵜匠は一番舟の先頭に乘っているの、川の状況も一番よくわかるんです。巧みに鵜

を操って、鵜から魚を吐かせる、その一方で舟の状況も把握して・・・ということが同時進行で行われるんですよ。そのあたりの技術は本当にすごかったと思います。

鵜飼漁の難しさ

川を下る舟のスピードです。常に篝火の下で鵜が潜っているスピードを保つために、どんな自然環境でも、鵜匠、船頭が息を合わせて、鵜を操り、船を操ることが大事ですし、難しいことであると思っています。

【ジュウジ】足立陽一郎 鵜匠

重要無形民俗文化財の指定について

平成17、18年に実施した「長良川鵜飼習俗調査」（岐阜市教育委員会・関市）がきっかけとなって「長良川の鵜飼」が認められることになったのではないかと思います。この調査がなければ、指定を受けるのはもっと長くかかったのではないのでしょうか。

足立陽一郎鵜匠は岐阜市長良鵜飼の鵜匠も含め、最年少の鵜匠ですが、何か工夫していることは

お客さんに小瀬鵜飼ならではの良さを存分に楽しんでもらえるよう、

う、鵜飼をより美しく見てもらえるよう心がけています。

また、鵜飼の解説もお客さんの年代や雰囲気に合わせて内容で行っています。外国からのお客さんには、英語も混ぜて説明していますよ。

鵜飼の魅力は

美しい自然の中で伝統的な漁を間近に見られるということですね！情緒もそうですが、お客さんたちは長良川の水の綺麗さにとても感動してくれます。そうした良さを伝えていくためには川の美しさ、ひいては美しい川の源となる山を含めた自然環境の保全に力を入れていかなければいけないでしょう。

鵜飼をより美しく



★祝!! 国重要無形民俗文化財指定「小瀬鵜飼」展の開催!!

- 期間 3月14日(土)～4月19日(日)
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日
- 場所 わかくさ・プラザ「学習情報館1階・特別陳列室」
- 入場料 無料

★「長良川の鵜飼漁の技術」小瀬鵜飼指定記念式典および講演会を開催!!

- 日時 3月29日(日) 午後1時30分～
- 場所 わかくさ・プラザ「多目的ホール」
- セレモニー 瀬尻保育園の園児
- 講演会 講師 岡田吉孝さん(岐阜県博物館学芸部長)
- 演題 「小瀬鵜飼の国文化財指定の経過と意義」